

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年9月10日～9月16日)

平成 27 年(2015 年)9 月 18 日

H E A D L I N E S

政治

PO及びPiS, 政策集会を開催
 世論調査にてPiSが大きくリード
 スヘティナ外相, 「V4+独+ルクセンブルク」外相会合に出席
 シェモニヤク副首相兼国防相, スウェーデン国防相と会談
 ドウダ大統領, 英国訪問
 下院, 欧州難民問題に関する特別審議を実施

経済

2023年までの鉄道計画が承認
 貿易黒字は拡大継続
 8月のCPIは0.6%減
 8月のコア・インフレ率は0.4%
 自動車生産が上昇(2015年8月)
 2016年の自動車生産の見通し
 太陽光ベンチャーに日本からの投資
 Jastrzebska Spolka Weglowa が労働組合と労働コスト削減に合意

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 ポズナンにおける領事出張サービスについて
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

PO及びPiS、政策集会を開催【12日】

12日、与党・市民プラットフォーム(PO)と最大野党「法と正義」(PiS)はそれぞれ政策集会を開催した。POの集会では、コパチ首相が、個人所得からの社会保険料・健康保険料の支払いの廃止、個人所得税(PIT)を一元化、非正規契約(所謂「ゴミ契約」)の排除等の政策を発表した。一方、PiSの集会では、シドウオ副党首(首相候補)が、中小企業に対する法人税(CIT)の15%への引き下げ、120万の雇用創出を目標とする計画、銀行及び大型スーパーに対する追加課税等の政策を発表した。

世論調査にてPiSが大きくリード【16日】

16日に発表された世論調査機関IBRiSによる政党支持率調査の結果によると、最大野党「法と正義」(PiS)が36.4%の支持を得て、21.8%の与党・市民プラットフォーム(PO)を大きくリードした。その他の主要政党・選挙連合については、統一左派(民主左派連合(SLD)及びみんなの運動(TR))が8.8%、「クキス'15運動」が6.1%、近代ポーランド(NPL)が5.7%、農民党(PSL)が5.2%の支持を獲得した。10月25日に総選挙を控える中、5月の大統領選挙以降、PiSが世論調査でリードする状況が続いている。

外交・安全保障

スヘティナ外相、「V4+独+ルクセンブルク」外相会合に出席【11日】

11日、スヘティナ外相は、プラハで開催されたV4(ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー)、ドイツ、ルクセンブルクの外相会合に出席し、欧州難民問題につき議論した。同会談にて、V4諸国は、難民の国別受け入れに関する欧州委員会提案に同意しない姿勢を示した。スヘティナ外相は、ポーランドは難民危機の連帯した解決に加わる用意がある、他方、欧州委員会提案は議論の叩き台となるものである旨述べた。

ル・オブ・ブリテン75周年式典祈念ミサへの出席等を行った。キャメロン首相との会談では、主に欧州難民問題、軍事・エネルギー安全保障につき意見交換が行われた。ドゥダ大統領は、我々は難民の欧州への流入の原因に対処する必要性につき合意した、また、キャメロン首相はNATO東方諸国である中・東欧地域におけるNATOインフラの強化の必要性に同意した旨述べた。

シエモニヤク副首相兼国防相、スウェーデン国防相と会談【14日】

14日、シエモニヤク副首相兼国防相は、ワルシャワを訪問したフルトクヴィスト・スウェーデン国防相と会談を行い、ニカ国及び地域防衛、特にバルト海における防衛協力について協議を行うとともに、共同訓練を含んだ新しい防衛協力合意に署名をした。

下院、欧州難民問題に関する特別審議を実施【16日】

16日、下院は、コパチ首相の要請を受けて、欧州難民問題に関する特別審議を実施した。コパチ首相は、ポーランド政府の最大の懸念はポーランドの安全であり、我々は欧州のパートナーに対し、EU境界の管理の強化、難民と経済移民の区別の徹底、ポーランド政府が難民の安全確認に関与できることを求めている、一方で欧州に連帯を示すことも重要であり、両者のバランスを取っていく必要がある旨述べた。これに対し、最大野党「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首は、政府は本件につき外圧を受けており、国民の合意なくして決定を下す権利はない旨述べた。

ドゥダ大統領、英国訪問【14日・15日】

14日・15日、ドゥダ大統領は英国を訪問し、キャメロン首相との会談、エドワード王子との面会、バト

経 済

経済・財政政策

2023年までの鉄道計画が承認【15日】

政府は15日、2015年から2023年までのプロジェクトとして総額675ズロチの鉄道整備計画を承認。

主要都市間の移動時間の短縮、特に東部と西部の間のアクセス改善等が目的。EU基金による支援は516億ズロチ。

マクロ経済動向・統計

貿易黒字は拡大継続【11日】

中央統計局(GUS)は、2015年1月～7月の貿

易黒字が計80.7億ズロチと発表。前年同期は61.8億ズロチの貿易赤字。経済大臣はこれはポーラ

ド経済が安定しているだけでなく、対ドル・ズロチ高も一因と発言。

8月のCPIは0.6%減【16日】

財務省は、8月の消費者物価指数(CPI)が対前年同月比0.6%減で6ヶ月連続で上昇傾向にあることにより、デフレ傾向が弱まっているとの見方を発

表。

8月のコア・インフレ率は0.4%【16日】

中央銀行(NBP)は、8月のコア・インフレ率が対前年同月比0.4%増と発表。7月の0.2%増から0.2ポイントの増加。

ポーランド産業動向

自動車生産が上昇(2015年8月)【10日】

自動車産業専門調査会社 Samarによると、2015年8月の国内自動車生産台数は前年比13%増であった。夏の休暇シーズンであったため、7月に比べ生産台数は減っているという。国内にはフィアット(ティヒ)、オペル(グリヴィツェ)及びフォルクスワーゲン(ポズナン)の車両の組み立て工場がある。

自動車産業専門調査会社 Samarによると、2016年の自動車生産台数は750,000台(前年比で15%程度の伸び)となると予測している。また、新車価格についても大きな伸びはなくほぼ同水準と見込んでいる。2015年に関しては、下半期はオペルで新型車が投入されたことに伴う生産増が見込まれる事もあり、2015年通期では675,000台に達すると予測している。

2016年の自動車生産の見通し【14日】

エネルギー・環境

太陽光ベンチャーに日本からの投資【10日】

太陽光発電ベンチャーである Saule Technologies 社に対し日本の澤田ホールディングスが20%の出資を行う契約が経済省にて署名された。式典にはピエホチンスキ副首相兼経済大臣及び在ポーランド日本大使館等も出席し挨拶を行った。Saule Technologies 社は、ポーランド人女性科学者 Olga Malinkiewicz 氏を中心に設立された、従来のシリコン型とは異なるペロブスカイト太陽電池の製造に関するベンチャー企業で、ポーランド研究開発センター(NCBR)等からも支援を受けている。

Jastrzebska Spolka Weglowa が労働組合と労働コスト削減に合意【16日】

経営再建を進める炭鉱大手 Jastrzebska Spolka Weglowa(JSW)社は、労働組合との間で2016年から2018年の間に約20億ズロチ相当の労働コストを下げることに合意した。炭鉱労働者に対する石炭の支給や14番目の給料と言われるボーナスが凍結される。この合意を踏まえ、同社の株価は最大40%に上る伸びを見せた。労働組合の代表者は、政府はJSWの置かれる状況への解決策を持ち合わせていないことを合意の理由として挙げている。

大使館からのお知らせ

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

ポズナンにおける領事出張サービスについて

大使館は、10月24日(土)10時から13時までの間、HOTEL Mercure Poznan Centrum内、会議室(ul. Roosevelta 20, 60-829 Poznan)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoujishucchou20151024.pdf>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本人児童・生徒による美術作品展【9月7日(月)～10月30日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、トルン児童美術作品ギャラリーセンター主催による国際美術コンクールに寄せられた日本人児童・生徒の応募作品が展示されます。ワルシャワ日本人学校の児童・生徒による絵画及び工作展も同時に開催されます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 -584 -73 00, E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】モコトフ日本フェスティバルと平和の鐘再建記念式典【9月20日(日)】

ワルシャワにて、スウジェフ文化センター(SDK)主催による『モコトフ日本フェスティバル&平和の鐘再建記念式典』が開催されます。記念式典のほか、日本関連グッズ販売、子供向け遊びコーナー、弓道・柔道デモンストレーション、浴衣の着付け、アンジェイ・ワイダ夫妻によるスケッチ画・写真展、ポーランド日本関係史パネル展、こけしの展示、陶器及び漆器展、茶道・書道・折り紙・けん玉・そろばんワークショップなどが予定されています。

開催場所：ワルシャワ、スウジェフ文化センター(SDK), ul. Jana Sebastiana Bacha 15

詳細：www.sdk.waw.pl/

【予定】波武道祭り・波剣道大会【9月26日(土)】

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『波武道祭り・波剣道大会』が開催されます。大会の他、将棋大会、書道デモンストレーション、日本刀展などが予定されています。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県、ヴロツワフ市, ul. Piotra Skargi 29/31

詳細：<http://www.fundacja-nami.pl/>

【予定】第5回国際空手選手権大会 Polish Open IKO「Galizia Cup」【9月26日(土)】

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第5回国際空手選手権大会 Polish Open IKO「Galizia Cup」』が開催されます。

開催場所：ポトカルパチェ県、レジャイスク市, ul.Marii Skłodowskiej-Curie 6

詳細：<http://www.karate.lezajsk.pl>

【予定】コシノジュンコ氏名誉博士号授与式典・記念講演及び展示会【10月1日(木)】

ウッチ市にて、ウッチ美術大学主催による『ファッション・美術・デザインにおける日本美学。コシノジュンコ氏名誉博士号授与式典』が開催されます。名誉博士号授与式典の他、日本美術・ファッションに関する展示会や講演などが予定されています。

開催場所：ウッチ県、ウッチ市、ウッチ美術大学, ul.Wojska Polskiego 121

詳細：<https://www.asp.lodz.pl/>

【予定】世界松濤館空手道協会の世界選手権大会【10月3日(土)～4日(日)】

ビェルスコ＝ビャワ市にて、アジアのスポーツクラブ「アテミ」主催による『世界松濤館空手道協会の世界選手権大会』が開催されます。

開催場所：シロンスク県ビェルスコ＝ビャワ市, ul. Karbowa 26

詳細：<http://www.wska2015.com/en/index.html>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)